

資料4 協働推進計画検証（自治推進委員意見取りまとめ）

IV-1 広報・啓発活動

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
1	情報発信・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市内 NPO 法人の活動紹介や協働推進コーナーの設置及び協働事業について広報で周知した。 ・市 HP では「市民活動情報館」を開設して、協働事業の募集、助成金情報、市民活動団体情報等の情報提供を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供してきたが、市民等からの反応がない状態のため、周知方法を再検討する必要がある。広報活動を活発にするのもいいのではないか。 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の工夫は評価ができる。 ・今後も広報活動を活発にするべき。

IV-2 人材の育成

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
2	研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の情報発信力アップとしてパソコン講習を3年間行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と市民等との研修に対するニーズにズレを感じている。現在、市民団体の中で、研修会等を企画していただきたく市提案型協働事業として公募しているが、応募がない状態。 ・研修そのものが必要性かどうか再検討しなければならない。 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを探してまで研修の必要はない。 ・必要性はあるが、浅く広い研修実施は難しい。 ・協働のための研修は他にもっとすべき事がある。

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
3	体験活動の 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市各課での行事は現状に沿った行事を計画しているので、充実していると思われる。 ・17地区コミュニティのうち13地区コミュニティでは、策定している「まちづくり計画」に沿って、各々活動を活発にしているので、一定の成果を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未計画の4地区コミュニティに策定を促しているが、あまり進んでいない。今後は、補助金等で格差をつけるなど、策定の必要性を促していきたい。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金などで差をつけるのはしてほしくない。 ・13地区で進んでいることに一定の評価はできる。 ・コミュニティ活動は活発にしているように思う。
4	交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業を通じて、特定の市民活動団体と行政の交流は図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の市民活動団体との交流は見られるが、全体的には、進んでいない。団体間も活動が様々なためか交流の必要性を感じていないようだ。行政は、団体の情報を提供して、団体独自に必要な交流をしていくほうが、団体活動には有効と思われる。 	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような交流・情報交換がなされているかが見えていない。 ・行政がNPO等の情報を知り、実際に見ることが必要。

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	委員評価	コメント(※要約)
5	市民活動ステップアップ	・市民団体のスキルアップのための補助金として、100%補助で金額が5万円と手ごろなせいか、市民活動団体としては、活用しやすい補助金と思われる。	・団体スキルアップ支援として利用を広げるための周知に努める。	B	B	・引き続き実施していただきたい内容。

IV-3 活動基盤の整備

No.	項目	実施内容	課題	自己評価	委員評価	コメント(※要約)
6	市民活動推進センター(仮称)の設置	・市民活動推進コーナー設置について市広報紙で掲載。 ・コーナー設置の際にアンケートに基づいてパソコン・プリンターを設置。	・市民活動推進コーナーの利用がないために、H22市民活動団体に集まっていた時にコーナー見学を行なったが、利用には繋がっていない。 ・今後、コーナー自体が必要かどうか検証しなければならない。	C	C	・どのような形での開設ならニーズがあるのか、丸亀の形を作っていく必要がある。 ・職員と相談や話ができるという形があることも大切。 ・今のままでは何もないのと同じ。活用できるものにしてほしい。 ・すぐに中止することは出来ないと思うので、コーナーの場所の検討、広報での継続掲載しかないと思う。

IV-4 相談窓口の設置

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
7	相談窓口	・本庁で部屋を準備して、開催時間:1回3～5時間の対応から、コミュニティセンターへ相談員が出向き、予約制の相談とした。	・相談に来る団体が少ない。今年度も予約制にしているが、問い合わせがない状態。初対面の経験豊富な相談員に団体の内部事業を相談は、しにくいようだ。不定期の相談員が必要かどうか、市職員で対応するほうが、いいのか検討する必要がある。	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員での対応がいい。 ・専門家は、協働を進めるにあたり、職員や団体の相談に随時のっていくという形ではどうか。 ・窓口自体は大事。あとは周知と活用。

IV-5 交流、連携の推進

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
8	ネットワークの構築、情報の一元化と共有	・市民活動団体・助成金・企画募集・協働事例・条例関係を市ホームページにて情報提供している。	・市職員・市民活動団体ともに反応がほとんどない状態。周知方法の見直しの必要がある。	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・HPは使用している人にとっては便利。 ・紙ベースになると、「ここに来れば」という場を集めた方が分かりやすい。 ・市HPはタイムラグが在りすぎる。円滑な運用を望みます。 ・各々にネットワークがあるので、それを一元化するなど、既成のものを編むだけでも、手立てがあると思う。 ・市役所内で情報を共有して欲しい。

IV-6 市の事業への参入

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
9	市・市民団体 提案による事 業への参入	<p>・行政と協働事業を行いたい市民活動団体は、提案公募で事業を開始して、その事業を継続して行っている。</p>	<p>・行政と協働事業を行いたい市民活動団体は、すでに提案公募で事業を開始して、その事業を継続して行っているところが大半のため、新たに事業を起こしてまで事業をする必要性がないのかもしれない。そのために、提案公募の応募がないのでないか。また、自分達で企画する事が難しいらしく、市から提案した事業のほうが取り組みやすい傾向がある。</p>	C	C	<p>・この制度を実施していること、市から市民から両方の提案の形があること、いくつかは継続事業に進展したこと、は成果であると思う。</p> <p>・3年以上を目安に継続か廃止か考えては。</p> <p>・お互いに意志疎通する量が増えてくれば、改善していくと思う。</p>
10	市の事業への参入	<p>・各課で協働と認識せずに行なっていた事業が、実は協働事業だった場合が少なく、今後は、各課で行なっている協働事業に重点をおくほうが、望ましいのでないか。事例件数をみると、決して協働事業が遅れているようには思えない。</p>	<p>・各課で行なっている協働事業について、どのようにして市民等・市職員に周知し、協働への意識改革をしていくかが、今後の課題。</p>	B	B	<p>・職員は、協働のレベルや形がどのようなものかも分けて見ていく必要がある。</p> <p>・市・市民団体提案による事業への参入より、次の段階にあるので期待している。</p>

V-3 協働推進員の役割

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
11	プロジェクトチーム	<p>・H23 までは、協働推進員の協働への意欲があまり感じられなかった。しかし、H24 からは、研修の出席率を見ても、徐々に認識の変化が現れてきているように思える。</p>	<p>・当面は職員の意識改革が重要と思えるため、特別なプロジェクトチームを結成するのは、時期早々に思える。</p>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に期待する。どのような方法があるか考えてほしい。 ・責任を取っていく人、部署が明確でないと衰退すると思う。 ・よくわかっている人だけで行うのもどうかと思うし。 ・皆が理解できるまで待っていては始まらないと思う。
12	協働推進連絡会	<p>・職員の協働に対する意識が H24 になって、やっと少しずつ変わってきているように思える。</p>	<p>・今後は、丸亀市の協働が決して他市に遅れていない事を周知し、前向きに協働に取り組むような研修をしていく事が大切に思える。</p>	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいると思う。

V-4 職員への啓発

No.	項目	実施内容	課題	自己 評価	委員 評価	コメント(※要約)
13	事例集の作成	・事例は、随時更新している。	・反応があまりない。今後は、どのようにして周知していくかが課題。	C	C	・あとは活用が出来れば。
14	研修会の開催	・職員の協働に対する意識がH24になって、やっと少しずつ変わってきているように思える。	・今後は、丸亀市の協働が決して他市に遅れていない事を周知し、前向きに協働に取り組むような研修をしていく事が大切に思える。	C	C	・いろいろな方法でアプローチされていると思う。 ・何かやわらかいアイデアで効果が出るのであれば良い。

A : ほぼ施策を達成
(ほぼ 100%)

B : まあまあ達成
(75%程度実施)

C : 顕著な成果が見られない
(50%程度実施)

D : ほとんど成果が見られない
(25%程度以下)